

取扱説明書

RadiForce® RX210

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について







本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従ってください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域の言語に合った取扱説明書をご確認ください。

Copyright© 2006 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh、Power Macintosh、Power Mac は Apple Computer Inc. の登録商標です。

IBM、VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA、DPMS は Video Electronics Standards Association の商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

RealVision は、RealVision Inc. の登録商標です。

Matrox は Matrox Electronic Systems Ltd. の登録商標です。

PowerManager、RadiCS、RadiNET は株式会社ナナオの商標です。ScreenManager、RadiForce、EIZO は株式会社ナナオの日本及びその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

△使用上の注意	4
第 1 章 はじめに	9
1-1. 特長	9
1-2. 梱包品の確認	9
1-3. 各部の名称	10
第 2 章 接続手順と画面調整	12
2-1. 接続の前に	12
2-2. 接続手順	13
2-3. 2 台のコンピュータをつなぐ	16
2-4. 画面調整（アナログ信号入力の場合）	17
第 3 章 調整/設定機能	20
3-1. 操作方法	20
3-2. ScreenManager メニュー	21
3-3. CAL Switch 機能	26
3-4. 調整ロック機能	27
第 4 章 カラー/画像調整	28
4-1. カラー調整	28
4-2. 画像調整	30
第 5 章 USB（Universal Serial Bus）の活用	32
第 6 章 アーム取付方法	34
第 7 章 故障かなと思ったら	35
第 8 章 お手入れ	40
第 9 章 仕様	41
第 10 章 用語集	45
第 11 章 付録	47
廃棄およびリサイクルについて	48

⚠ 使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】



【本体に使われている記号】

記号	使われている場所	意味
○	背面	主電源スイッチ 本機の主電源をオフにします。
⏻	背面	主電源スイッチ 本機の主電源をオンにします。
⏻	前面 コントロールパネル	電源スイッチ 本機の主電源をオンまたはオフにします。
～	背面 ネームプレート	交流
⚡	背面	危険警告・感電
⚠	背面	注意 取扱説明書内、「絵表示」参照

警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

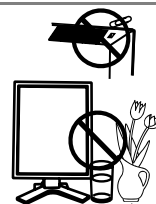
お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

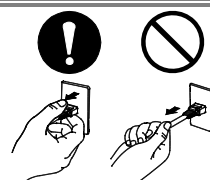
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



警告

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

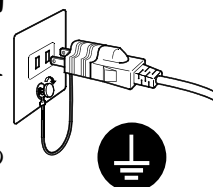
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



注意

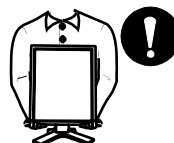
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

落としたりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



液晶パネルについて

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

第 1 章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 2 系統信号入力搭載 (DVI-D、D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ)
- DVI (p. 46) デジタル入力 (TMDS (p. 46)) 対応
- 水平周波数：アナログ信号入力時 24～100kHz、
デジタル信号入力時 31～100kHz
- 垂直周波数：アナログ信号入力時 49～86Hz (1600x1200 モード時 49～76Hz)
デジタル信号入力時 59～61Hz、(VGA TEXT 時 69～71Hz)
- フレーム同期モード対応周波数：59～61Hz
- 表示解像度：2M ピクセル (縦型表示時 1200×1600 ドット (H×V))
- 最適なキャリブレーションモードを選択できる CAL Switch(キャルスイッチ)機能搭載 (p. 26)
- DICOM (p. 46) Part 14 に準拠した画面選択が可能
- USB ハブ機能搭載 (p. 32)
- マウスやキーボードを使って操作できるユーティリティソフトウェア
「ScreenManager Pro for Medical (Windows 用)」を添付 (EIZO LCD ユーティリティディスクを参照)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- スリムエッジ (狭額縁) 仕様

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| ● モニター本体 ^{※1} | ● 「EIZO LCD ユーティリティディスク」 |
| ● 電源コード | ● 取扱説明書 (本書) |
| ● 二芯アダプタ | ● ScreenManager クイックリファレンス |
| ● デジタル信号ケーブル (FD-C39) | ● 保証書 |
| ● アナログ信号ケーブル (MD-C87) | ● 出荷試験報告書 |
| ● EIZO USB ケーブル (MD-C93) | ● お客様ご相談窓口のご案内 |

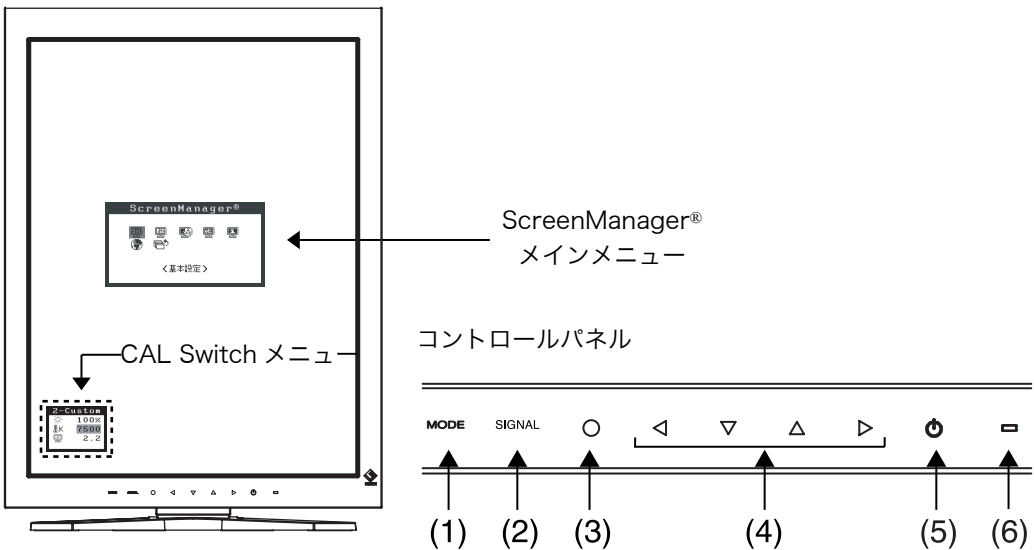
^{※1} 梱包状態ではパネル部は、横型表示になっています。パネル部を反時計回りに 90° 回転させて縦型表示にしてからご使用ください。

参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

1-3. 各部の名称

前面



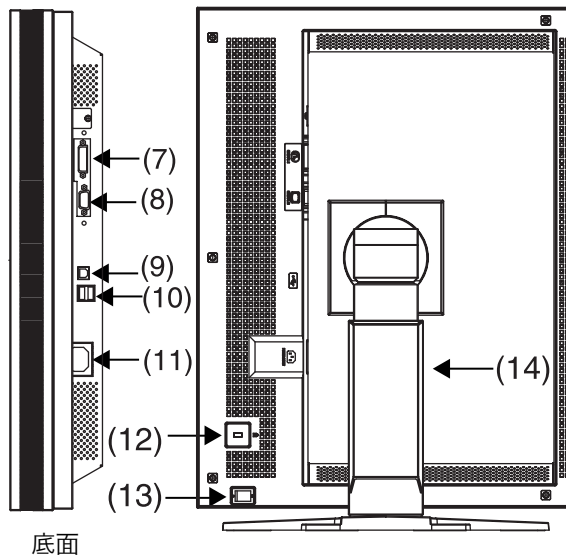
- (1) MODE モードスイッチ
- (2) SIGNAL 入力切替スイッチ
- (3) ○ エンタースイッチ
- (4) ◀ ▼ ▶ ▶ 方向スイッチ (左・下・上・右) ※1
- (5) 電源スイッチ
- (6) 電源ランプ※2








緑	画面表示
オレンジ	節電モード
オレンジゆっくり点滅	電源スイッチオフ状態 (主電源スイッチオン)
消灯	主電源スイッチオフ

※1 モニターの設置方向を横型にすると、上・左・右・下に変わります。

※2 画面表示時の電源ランプ (緑) を無灯にすることができます (「電源ランプ設定 (p. 25)」)。
また、オフタイマー時の電源ランプ表示については「p. 25」を参照してください。

背面



- (7)  DVI-D コネクタ (SIGNAL 1)
- (8)  D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ (SIGNAL 2)
- (9)  USB アップストリームポート (1 ポート)
- (10)  USB ダウンストリームポート (2 ポート)
- (11)  電源コネクタ
- (12)  盗難防止用ロック※³
- (13)  主電源スイッチ
- (14)  高さ調整機能付きスタンド※⁴

※³ 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

※⁴ 本機はモニターの横型表示に対応しています。(時計回りに 90 度回転させることができます。)
また、本機はスタンド部分を取り外してアーム (別のスタンド) を取り付けすることができます。(p.34)

第2章 接続手順と画面調整

2-1. 接続の前に

今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に下表を参照して、必ず本機で表示できる解像度（p.45）、周波数に変更しておいてください。

参考

- DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

デジタル信号入力をする場合

○：対応 －：非対応

解像度		垂直周波数	ドット クロック	表示モード	
				縦型表示	横型表示
640×480	VGA	60Hz	162MHz (最大)	○	○
720×400	VGA TEXT	70Hz		○	○
800×600	VESA	60Hz		○	○
1024×768	VESA	60Hz		○	○
1280×1024	VESA	60Hz		－	○
1600×1200	VESA	60Hz		－	○
1200×1600	縦型表示	60Hz		○	－

アナログ信号入力をする場合

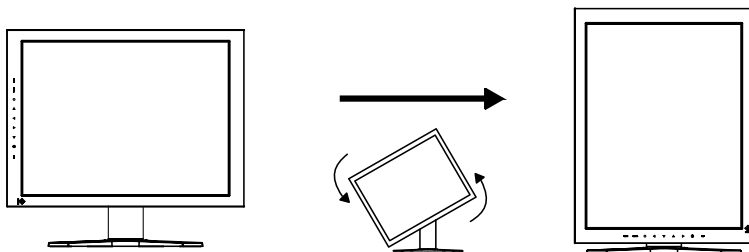
解像度		垂直周波数	ドット クロック	表示モード	
				縦型表示	横型表示
640×480	Apple Macintosh	67Hz	202.5MHz (最大)	○	○
640×480	VGA	～85Hz		○	○
720×400	VGA TEXT	70Hz		○	○
800×600	VESA	～85Hz		○	○
832×624	Apple Macintosh	75Hz		○	○
1024×768	VESA	～85Hz		○	○
1152×864	VESA	75Hz		○	○
1152×870	Apple Macintosh	75Hz		○	○
1152×900	SUN WS	～76Hz		○	○
1280×960	VESA	60Hz		－	○
1280×960	Apple Macintosh	75Hz		－	○
1280×1024	VESA	～85Hz		－	○
1280×1024	SUN WS	67Hz		－	○
1600×1200	VESA	～75Hz		－	○
1200×1600	縦型表示	60Hz		○	－

2-2. 接続手順

注意点

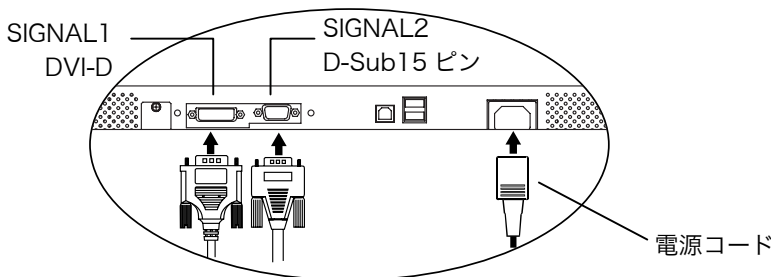
- モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。
- 接続の際はコンピュータの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

1. モニターを反時計回りに 90° 回転させて、縦型表示にします。




2. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。



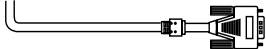
デジタル信号を入力する場合

SIGNAL1 (DVI-D コネクタ)に接続します。

ケーブル	コネクタ(コンピュータ側)	コンピュータ
信号ケーブル(付属 FD-C39) 	ビデオ出力コネクタ/DVI-D コネクタ	● 専用グラフィックスボード (p.43)

アナログ信号を入力する場合

SIGNAL2 (D-Sub15 ピン)に接続します。

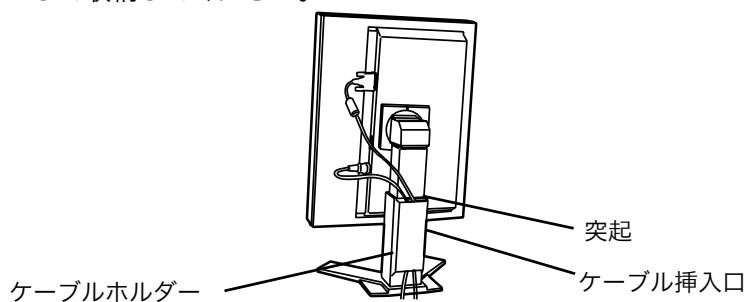
ケーブル	コネクタ(コンピュータ側)	コンピュータ
信号ケーブル (付属 MD-C87) 	ビデオ出力コネクタ/ D-Sub15 ピン (ミニ)	● DOS/V マシン ● Power Macintosh G3 (Blue&White) / Power Mac G4 (VGA)

3. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。

4. ケーブル類をケーブルホルダーに収納します。

注意点

- ケーブル類をケーブルホルダーに収納する場合、またはケーブルホルダーから排出する場合は、ケーブル挿入口の突起をつまんでケーブル挿入口を開閉してください。
- ケーブル類を収納する際は、スタンドの昇降、縦型表示を考慮して、長さに多少の余裕をもたせてください。また、ケーブル挿入口側にケーブル類を引き回して収納してください。



5. 電源コードを電源コンセントに接続します。

⚠ 警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

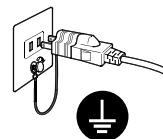
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



-
- 6. コントロールパネルの電源スイッチに触れ、モニターの電源を入れます。**
電源ランプが点灯（緑）します。

7. コンピュータの電源を入れます。

画面が表示されます。

電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第 7 章 故障かなと思ったら (p. 35)」を参照してください。

アナログ信号入力時は、「2-4. 画面調整（アナログ信号入力の場合）(p. 17)」を参照して、画面を調整してください。
デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて、画面が正しく表示されます。

使用後は、電源を切ってください。

参考

- 電源を入れると、画面右上に入力されている信号の種類（入力信号 1 または 2/アナログまたはデジタル）がおおよそ 2 秒間表示されます。
- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

- 8. 「ScreenManager Pro for Medical (Windows 用)」を使用する場合、USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。**

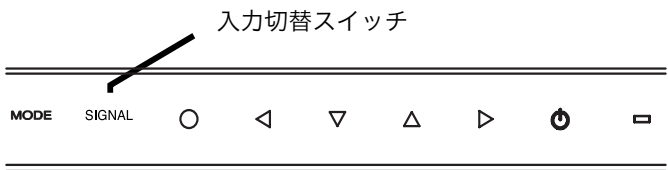
「第 5 章 USB (Universal Serial Bus) の活用 (p. 32)」を参照してください。

2-3. 2 台のコンピュータをつなぐ

SIGNAL1 (DVI-D コネクタ)、SIGNAL2 (D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ)それぞれにコンピュータを接続し、2 台のコンピューターを切り替えて表示することができます。

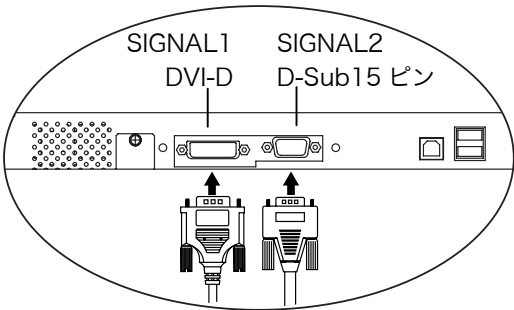
入力信号の切り替え方法

コントロールパネルの入力切替スイッチで切り替えます。触れるたびに信号が切り替わります。



優先的に表示される信号を設定する

ScreenManager の <基本設定>メニューの<入力プライオリティ>を設定して、どちらか一方のコンピュータを優先的に表示させることができます (ScreenManager の操作方法は、P. 22を参照)。コンピュータが 1 台のみ接続している場合は、優先信号が入力信号 1 または 2 のどちらかに設定されていても、信号は自動検知されます。



優先設定	機能
1 (DVI-D コネクタ)	以下の場合に優先入力設定が機能します。 <ul style="list-style-type: none">● モニターの電源を入れたとき● 「入力信号 2」を表示していても、「入力信号 1」の信号状態が変化した場合
2 (D-Sub15 ピンコネク タ)	以下の場合に優先入力設定が機能します。 <ul style="list-style-type: none">● モニターの電源を入れたとき● 「入力信号 1」を表示していても、「入力信号 2」の信号状態が変化した場合
マニュアル	コンピュータの信号を自動検知しません。コントロールパネルの入力切替スイッチで表示させたい信号を選択してください。

参考 節電機能について

- <入力プライオリティ>で「1」または「2」が選択されている場合は、2 台のコンピュータの両方が節電モードに入っている場合のみモニターの節電機能が動作します。

2-4. 画面調整（アナログ信号入力の場合）

液晶モニターの画面の調整とは、使用するシステムに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManager を使用して画面を調整していただくことをおすすめします。


注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）

調整手順

ScreenManager の操作方法は「P. 22」を参照してください。

1. ScreenManager の＜基本設定＞メニューにより＜自動調整＞を選択して調整します。

→  ＜基本設定＞メニューの＜自動調整＞を選択し「実行」を選択します。

自動調整機能が働き（動作中であることを示す画面が表示されます）、クロック、フェーズ、表示位置、解像度が調整されます。


注意点

- この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。
DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

＜自動調整＞で調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 3 にお進みください。

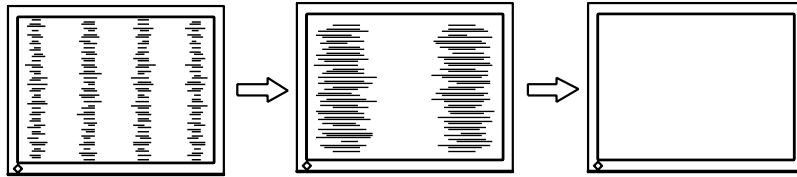
2. ScreenManager の＜ピクチャー調整＞メニューにより詳細な調整をします。

(1) 縦縞が出ている場合


→  クロック (p. 45) を調整します。

＜クロック＞を選択し、左・右の方向スイッチを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、方向スイッチはゆっくり押し調整するようにしてください。

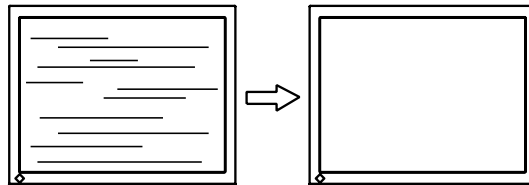
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2)フェーズ調整」にすすみ調整をおこなってください。



(2) ちらついたり、にじむように見える場合

→  フェーズ (p. 46) を調整します。


<フェーズ>を選択し、左・右の方向スイッチを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

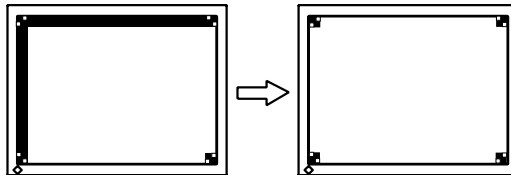
(3) 表示位置がずれている場合

→  ポジションを調整します。


液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像の左上とマーカーが合うように上・下・左・右の方向スイッチで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

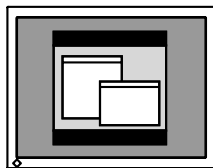
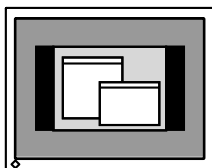


(4) 余分な画像が表示されていたり、画像が切れている場合

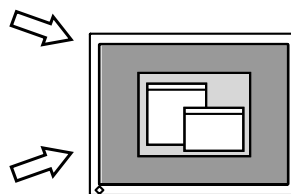
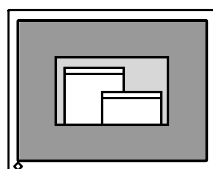
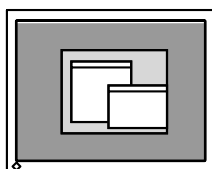
→  解像度を確認します。

＜解像度＞を選択し、調整メニューに表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下の方向スイッチで垂直方向の、左・右の方向スイッチで水平方向の解像度を調整します。


表示ドット数が多いため、余分な画像が表示されている



表示ドット数が少ないため、画像が切れている



3. 信号の出力レンジ（レンジ調整）を調整します。

→  ＜ピクチャー調整＞メニューの＜レンジ調整＞（p. 46）で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整します。

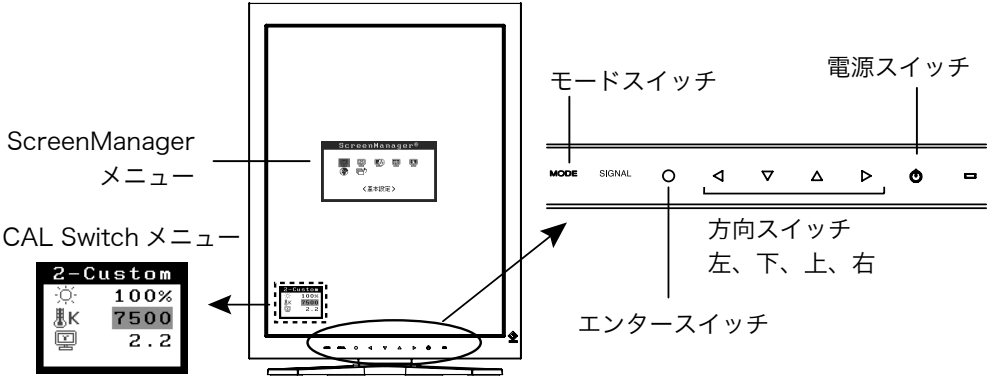
[設定方法]

＜ピクチャー調整＞メニューより＜レンジ調整＞の調整メニューを表示します。「実行」を選択すると、出力レンジが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表示します。

第 3 章 調整/設定機能

3-1. 操作方法

画面の調整および設定は、ScreenManager(OSD)やモニターのスイッチを使用して、おこないます。



調整方法	起動方法	機能詳細
ScreenManager メニュー	エンタースイッチ	「3-2. ScreenManager」 (p. 21)
CAL Switch メニュー	モードスイッチ	「3-3. CAL Switch 機能」 (p. 26)
スイッチ操作 *調整ロック機能	エンタースイッチ+ 電源スイッチ	「3-4. 調整ロック機能」 (p. 27)

各機能の詳細は、それぞれの章を参照してください。

注意点

- ScreenManager メニューと CAL Switch メニューを同時に表示することはできません。

3-2. ScreenManager メニュー

画面の調整および設定は ScreenManager のメニューを使用しておこないます。機能の詳細は、下記一覧表の「調整/設定内容」の欄または欄内の参照ページを参考にしてください。

機能一覧

ScreenManager の調整および設定項目一覧表です。

「*」はアナログ信号入力のみ、「**」はデジタル信号入力のための機能です。

メインメニュー	サブメニュー	調整/設定内容	
基本設定	自動調整*	「2-4. 画面調整（アナログ信号入力の場合）」(p. 17)	
	画像回転	「画像回転機能」(p. 23)	
	モード設定	「モード設定機能」(p. 23)	
	入力プライオリティ	優先的に表示される信号を選択する (p.16)	
ピクチャー調整*	クロック	「2-4. 画面調整（アナログ信号入力の場合）」(p. 17)	
	フェーズ		
	ポジション		
	解像度		
	レンジ調整		
	信号フィルタ		
カラー※1	ブライトネス	「4-1. カラー調整」(p. 28)	
	色温度		
	ガンマ		
	色の濃さ		
	色合い		
	ゲイン		
	6色調整		
	リセット		
PowerManager	DVI DMPM**	「節電設定」(p. 24)	
	VESA DPMS*		
その他	拡大モード	「4-2. 画像調整」(p. 30)	
	ボーダー		
	スムージング		
	オフタイマー	タイマー(使用時間)を設定する (p. 25)	
	メニュー設定	サイズ	メニューサイズを拡大する
		ポジション	メニュー位置を移動する
		オフタイマー	メニュー表示時間を設定する※2
		半透明	メニューの透明度を設定する
	電源ランプ		画面表示時の電源ランプ（緑）を無灯にする (p. 25)
リセット		調整/設定状態を初期設定に戻す (p. 42)	

インフォメーション	インフォメーション	設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間 ^{※3} を確認する
言語選択	英語・ドイツ語・フランス語・ スペイン語・イタリア語・ スウェーデン語・ 中国語(簡体字)・ 中国語(繁体字)・日本語	ScreenManager の言語を選択する

※1 <カラー>メニューで調整/設定できる機能はモードにより異なります。(p. 28)

※2 CAL Switch メニューの表示時間も変更されます。

※3 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0H」ではない場合があります。

操作方法

[メニューの表示]

コントロールパネルのエンタースイッチに触れます。

[調整/設定]

- (1) 方向スイッチで、調整/設定したい項目を選択します。
エンタースイッチで、選択した項目のサブメニューを表示します。
- (2) 方向スイッチで、調整/設定したい項目を選択します。
エンタースイッチで、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
- (3) 方向スイッチで調整/設定します。
エンタースイッチで確定します。

[終了]

- (1) サブメニューより<リターン>を選択し、エンタースイッチに触れて、メインメニューに戻ります。
- (2) メインメニューより<メニューオフ>を選択し(下スイッチに2回触れると移動します。)、エンタースイッチに触れて、ScreenManager を終了します。

参考

- エンタースイッチにすばやく続けて2回触れても、ScreenManager を終了させることができます。

ScreenManager メニュー



画像回転機能 <基本設定>-<画像回転>

本機能が有効な場合、コンピュータは起動時のモニターの設置方向を検出して、適切な方向で画像を表示することができます。ソフトウェアのローテーション機能を使用して画像の表示方向を変更する場合は、本機能を無効に設定してください。

[設定方法]

- (1) ScreenManager の<基本設定>メニューより<画像回転>を選択します。
- (2) 「有効」に設定します。
- (3) モニターの設置方向を変更して、コンピュータを再起動します。

[解除方法]

- (1) ScreenManager の<基本設定>メニューより<画像回転>を選択します。
- (2) 「無効」に設定します。
- (3) コンピュータを再起動します。

注意点

- コンピュータ起動中に設置方向を変更した場合は、コンピュータ再起動後に画面が正しく表示されます。

モード設定機能 <基本設定>-<モード設定>

CAL Switch モードを選択するときに、設定したモードだけを表示させることができます。表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

[設定方法]

- (1) ScreenManager の<基本設定>メニューより<モード設定>を選択します。
- (2) モードごとに「オン」、「オフ」を設定します。

注意点

- すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「オン」に設定してください。

[解除方法]

- (1) ScreenManager の<基本設定>メニューより<モード設定>を選択します。
- (2) 再表示したいモードを「オン」に設定します。

節電設定 <PowerManager>

ScreenManager の<PowerManager>メニューで節電機能を設定できます。

注意点

- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM (p. 46)」に準拠しています。

[設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより「DVI DMPM」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
節電モード/オフモード		節電モード	オレンジ

[復帰方法]

コンピュータ/節電モードからの復帰: キーボードまたはマウスを操作します。
コンピュータ/オフモードからの復帰: コンピュータの電源を入れます。

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS (p. 46)」に準拠しています。

[設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより、「VESA DPMS」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	オレンジ

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

タイマー機能 <その他>-<オフタイマー>

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にモニターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示しておくような場合にご利用ください。

[設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
- (2) 「有効」を選択した後、モニターの使用時間（1H～23H）を設定します。

[オフタイマーの流れ]

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	緑点灯
設定時間終了 15 分前	予告期間 ^{※1}	緑点滅
設定時間終了後	電源オフ	オレンジゆっくり点滅

^{※1} 予告期間中にコントロールパネルの電源スイッチを押すと、押した時点から 90 分延長することができます。延長は制限がなく何度でもできます。

[復帰方法]

コントロールパネルの電源スイッチを押します。

注意点

- 節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。

電源ランプ設定 <その他>-<電源ランプ>

画面表示時の電源ランプ（緑）を無灯にすることができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します）。

[設定方法]

- (1) ScreenManager の<その他>メニューより<電源ランプ>を選択します。
- (2) 「無効」に設定します。

3-3. CAL Switch 機能

コントロールパネルのモードスイッチを使って、表示画像に最適な表示モードを選択できます。

各モードの＜ブライトネス＞、＜色温度＞、＜ガンマ＞を調整/設定できます。

CAL Switch モード一覧

モード		用途
1 - DICOM	※	DICOM で表示したい場合に選択します。
2 - Custom	※	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
3 - CAL	※	キャリブレーションをおこなう場合に選択します。
4 - Text		ワープロや計算ソフトなどの文字画面を表示する際に選択します。

※ これらのモードは、それぞれ個別にキャリブレーションをおこなうことができます。
また、本機専用のキャリブレーションキット（オプション p. 43）を使用して、モード名を変更することができます。

操作方法

[CAL Switch メニューの表示]

コントロールパネルのモードスイッチに触れます。

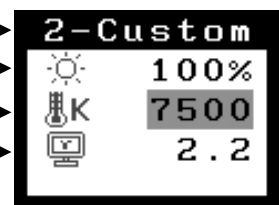
CAL Switch モード→

ブライトネス→

色温度→

ガンマ→

CAL Switch メニュー



[CAL Switch モードの選択]

CAL Switch メニューが表示されている間に、モードスイッチに触れます。

モードスイッチに触れるたびに、1-DICOM→2-CUSTOM→3-CAL→4-TEXT→1-DICOM と表示モードが切り替わります。

[CAL Switch モードのカラー調整]

(1) 上下の方向スイッチで、調整/設定したい項目を選択します。

(2) 左右の方向スイッチで、値を調整/設定します。

[CAL Switch メニューの終了]

エンタースイッチに触れます。

注意点

- モードを切り替えるときに、不要なモードをスキップして、必要なモードだけを表示させる設定ができます。（p. 23 モード設定機能 ＜基本設定＞-＜モード設定＞参照）。
- モードによっては、色温度、ガンマの値が固定されています。（p. 28）
- ScreenManager の＜カラー＞メニューではモードごとにさらに詳細なカラー調整をおこなうことができます。（p. 28）

3-4. 調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	<ul style="list-style-type: none">● ScreenManager の表示、調整、設定● CAL Switch モードの輝度調整
ロックされない機能	<ul style="list-style-type: none">● モードスイッチによる CAL Switch モードの選択● 入力切替スイッチ

[設定方法]

- (1) コントロールパネルの電源スイッチに触れて、いったん電源を切ります。
- (2) コントロールパネルのエンタースイッチに触れながら、電源スイッチに触れます。

[解除方法]

- (1) コントロールパネルの電源スイッチに触れて、いったん電源を切ります。
- (2) コントロールパネルのエンタースイッチに触れながら、電源スイッチに触れ、再度モニターの電源を入れます。

注意点

- 専用のソフトウェア（オプション p. 43）を使用してキャリブレーションした場合にも、調整ロック機能が動作します。解除方法は上記の手順と同様です。

第 4 章 カラー/画像調整









4-1. カラー調整

ScreenManager の<カラー>メニューで、CAL Switch モードごとに独立した、カラー調整の設定、保存ができます。

調整項目

- CAL Switch モードにより、<カラー>メニューで調整/設定できる機能が異なります。(表示メニューも異なります。)

○：調整/設定可 —：工場にて設定済み

アイコン	機能名	CAL Switch モード			
		1-DICOM	2-Custom ^{※2}	3-CAL	4-Text
	ブライトネス ^{※1}	○	○	○	○
	色温度 ^{※1}	—	○	—	○
	ガンマ ^{※1}	—	○	—	○
	色の濃さ	—	○	—	○
	色合い	—	○	—	○
	ゲイン	—	○	—	—
	6色調整	—	○	—	—
	リセット	○	○	○	○









^{※1} これらの調整項目は CAL Switch メニューでも調整/設定ができます。(p. 22)

^{※2} 本機専用のキャリブレーションキット (オプション p. 43) を使用して、このモードでキャリブレーションをおこなった場合、調整項目はブライトネスとリセットのみになります。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。)
- <カラー>メニューの<リセット>を選択すると、CAL Switch モードで選択しているモードの色調が初期設定 (工場出荷状態) に戻ります。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整内容

メニュー	内容	調整範囲
ブライトネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整する	0～120%
色温度(p. 45) 	色温度の選択 参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ● 色温度を調整すると、色温度に応じて<ゲイン>が自動調整されます。 ● オン設定は<ゲイン>の設定をすると無効になります。色温度の設定は「オフ」になります。 ● 6,000K より低く、あるいは 15,000K より高くすると、設定が自動的に「オフ」になります。 	6,000K～15,000K まで 500K 単位で選択します。(9,300K 含む)
ガンマ(p. 45) 	ガンマ値の設定	1.8～2.6
色の濃さ 	色を鮮やかにする 注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。 	-100～100 最小値(-100)で白黒の画面となります。
色合い 	肌色などを好みの色合いにする 注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。 	-100～100
ゲイン(p. 45) 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にする 参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ● 本設定は<色温度> (p. 45) の設定をすると無効になります。ゲインの設定は色温度に応じて変化します。 	0～100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、色調を自分でつくります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
6 色調整 	<色合い>、<色の濃さ>を Red, Yellow, Green, Cyan, Blue, Magenta それぞれ個別に調整する	色合い：-100～100 色の濃さ：-100～100
リセット 	選択している CAL Switch モードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻す	「リセット」を実行します。

4-2. 画像調整

VGA640x480 などの低解像度の画像を好みのサイズで表示できます。また、その表示画像のにじみや画像が表示されない部分の明るさを調整/設定することができます。

画像の表示サイズを変更する

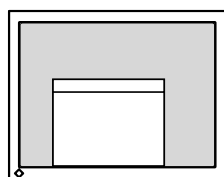
[設定手順]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<拡大モード>を選択します。
- (2) 上・下の方向スイッチでモード表示サイズを選択します。

メニュー	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

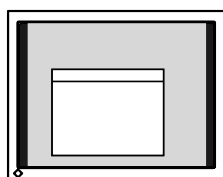
例：1280x1024 を表示した場合

フルスクリーン
(初期設定)



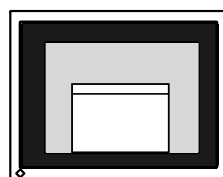
(1600×1200)

拡大



(1500×1200)

ノーマル



(1280×1024)

文字や線がぼやけてみえる場合

「フルスクリーン」または「拡大」モードで表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見えるときは、スムージングを調整してください。

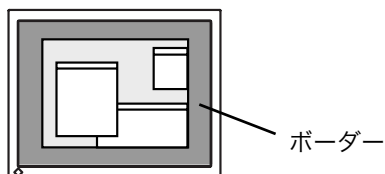
[調整手順]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<スムージング>を選択します。
- (2) 左・右の方向スイッチで、表示状態を 1～5 段階（ソフト～シャープ）から好みに応じて選択します。

注意点

- <スムージング>アイコンは、以下の場合では選択できません。
 - 解像度が 1600 x1200 の場合
 - <拡大モード>で解像度を 2 倍に拡大した場合
(例：800x600 を 1600x1200 に拡大設定)

画像が表示されない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合



【調整手順】

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<ボーダー>を選択します。
- (2) 左・右の方向スイッチで調整します。
左の方向スイッチで暗く、右の方向スイッチで明るくなります。

第 5 章 USB (Universal Serial Bus) の活用

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 98/Me/2000/XP または Mac OS 8.5.1 以降
- EIZO USB ケーブル (MD-C93)

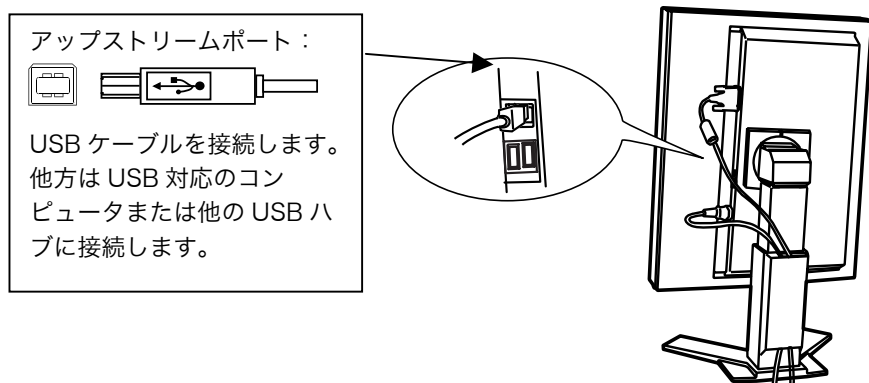
注意点

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターの主電源が入っていないと、ダウンストリームポートに接続している周辺機器は動作しません。
- モニターが節電モードの状態に入っても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器は動作します。

接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)

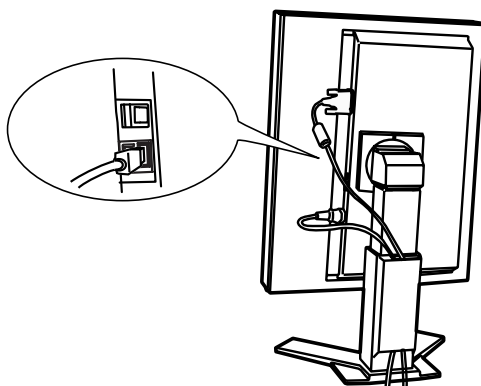
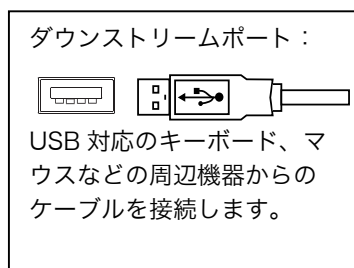
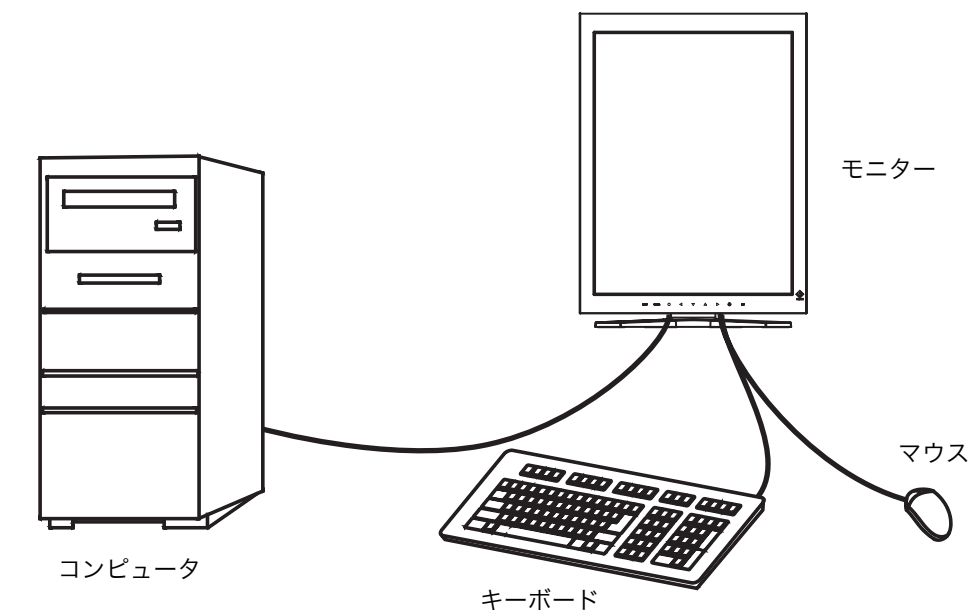
1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し (p. 13)、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ (あるいは他の USB ハブ) のダウンストリームポートとモニターのアップストリームポートを USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。



-
- 3.** セットアップが完了すると、モニターがUSB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。

接続例



「ScreenManager Pro for Medical (Windows 用)」について

ユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for Medical (Windows 用)」については「EIZO LCD ユーティリティディスク」CD-ROM を参照してください。

第 6 章 アーム取付方法

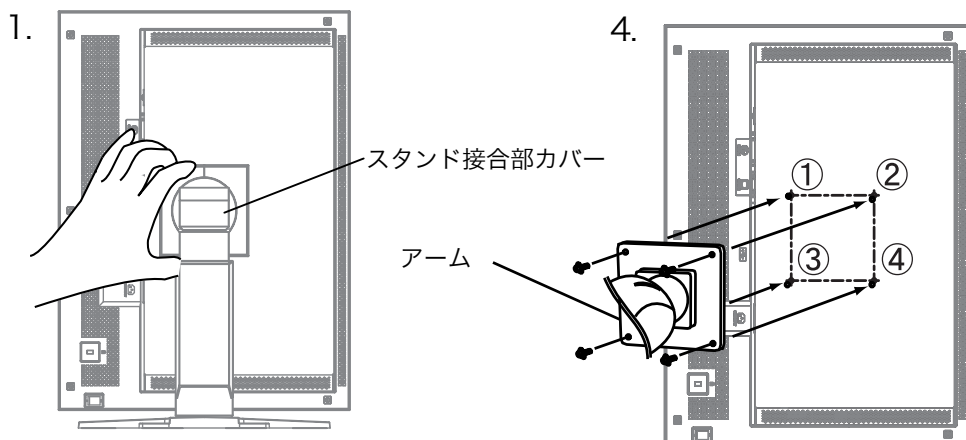
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、お選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100 mm x 100 mm（VESA 規格準拠）
 - 耐荷重：モニター本体（スタンドなし）とケーブルなどの装着品の総重量に耐えられること
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

取付方法

1. スタンド接合部のカバーの中央部（上下）を押さえ、左右にスライドさせて取り外します。
2. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
3. スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ（M4×10mm：4箇所）を取り外します。
4. モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。



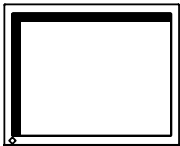
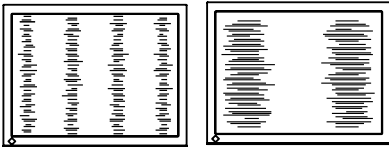
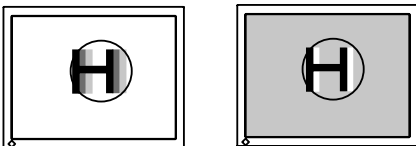


取付用ネジ：M4×10mm：4箇所

第 7 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3～14 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 15～18 を参照してください。
- USB に関する症状 → 項目 19～20 を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">● 電源ランプが点灯しない	<input type="checkbox"/> 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">● 電源ランプが点灯：オレンジ色	<input type="checkbox"/> マウス、キーボードを操作してみてください。(→p. 24) <input type="checkbox"/> コンピュータの電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">● 電源ランプが点滅：オレンジ色 (ゆっくり点滅)	<input type="checkbox"/> 電源スイッチに触れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">● 電源ランプが点滅：オレンジ色 (早い点滅)	<input type="checkbox"/> 電源スイッチに触れてみてください。 <input type="checkbox"/> 電源を入れて（電源ランプ緑色点灯）1 分後にまた電源が切れて、再度電源ランプがオレンジ色の点滅をする場合は、18 項(p. 38)を参照してください。
2. 以下のようなメッセージが表示される (この表示は約 40 秒間表示されます。) <ul style="list-style-type: none">● 信号が入力されていない場合の表示です。 <div data-bbox="235 1269 574 1427"><p>入力信号チェック</p><p>シグナル 2</p><p>fH: 0.0kHz fV: 0.0Hz</p></div>	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 <input type="checkbox"/> コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出られないため、左のような画面が表示されることがあります。 <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 入力切替スイッチで入力信号を切り替えてみてください。
<ul style="list-style-type: none">● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は赤色で表示されます。) 例： <div data-bbox="222 1626 559 1804"><p>入力信号エラー</p><p>シグナル 2</p><p>fD: 165.0MHz fH: 75.0kHz fV: 60.0Hz</p></div>	<input type="checkbox"/> グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
<p>3. 画像がずれている</p> 	<p><input type="checkbox"/> <ポジション>調整で画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。(→p. 17)</p> <p><input type="checkbox"/> ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。</p>
<p>4. 画像の一部が表示されない/余分な画像が表示される</p>	<p><input type="checkbox"/> <解像度>で入力信号の解像度と解像度調整画面の解像度が合うように調整してください。(→p. 19)</p>
<p>5. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている</p> 	<p><input type="checkbox"/> <クロック>で調整してみてください。(→p. 17)</p>
<p>6. 画像が重なって見える/画像の右側に明るい線が見える</p> 	<p><input type="checkbox"/> アナログ信号入力でお使いの場合は、<ガンマ>の調整値を 1.8～2.2 に設定してみてください。(→p. 29)</p>
<p>7. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> 	<p><input type="checkbox"/> <フェーズ>で調整してみてください。(→p. 17)</p>
<p>8. 文字がぼやけて見える</p>	<p><input type="checkbox"/> <スムージング>で調整してみてください。(→p. 30)</p>
<p>9. 画面の上部が下図のように歪む</p> 	<p><input type="checkbox"/> コンポジットシンク(X-OR)の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。</p>

症状	チェックポイント/対処方法
10. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<input type="checkbox"/> <ブライツネス>を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
11. 残像が現れる	<input type="checkbox"/> 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、タイマー機能 (→p. 25) を活用していますか。 <input type="checkbox"/> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
12. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<input type="checkbox"/> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
13. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押したあとが消えない	<input type="checkbox"/> 画面全体に白い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
14. 表示された画面にノイズがある	<input type="checkbox"/> <ピクチャー調整>の<信号フィルタ>でモードを切り替えてみてください。
15. ScreenManager において、<その他>の<スモーキング>アイコンが選択できない	<input type="checkbox"/> 以下の解像度においては選択できません。 ● 1600×1200 の場合 <input type="checkbox"/> <拡大モード>で解像度を 2 倍に拡大した場合選択できません。(例：800x600 を 1600x1200 に拡大設定)
16. ScreenManager のメインメニューが起動できない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p. 27) <input type="checkbox"/> コントロールパネルのスイッチ表面に水滴や異物が付着していませんか。表面を軽くふき、乾いた手でもう一度スイッチに触れてみてください。 <input type="checkbox"/> 手袋を装着していませんか。手袋を外した、乾いた手でもう一度スイッチに触れてみてください。
17. コントロールパネルが動作しない CAL Switch メニューが起動できない	<input type="checkbox"/> コントロールパネルのスイッチ表面に水滴や異物が付着していませんか。表面を軽くふき、乾いた手でもう一度スイッチに触れてみてください。 <input type="checkbox"/> 手袋を装着していませんか。手袋を外した、乾いた手でもう一度スイッチに触れてみてください。

症状	チェックポイント/対処方法
<p>18. 使用中に電源が切れ、画面が表示されない。</p>	<p> <input type="checkbox"/> モニターは内部温度が極度に高温になると、自動的に電源が切れます。高温状態のままでは、再度電源スイッチを入れても 1 分後にまた電源が切れます。 </p> <p> <input type="checkbox"/> 設置場所や環境を変え、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 </p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通風孔がふさがっていませんか。 ● 周囲に高温度のものが置かれていませんか。 <p> <input type="checkbox"/> 設置場所や環境を変えても電源が入らない場合は、エイゾーサポートに連絡してください。 </p> <p>注意点</p> <p>モニターの通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。</p>
<p>19. USB 機能のセットアップができない</p>	<p> <input type="checkbox"/> USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 </p> <p> <input type="checkbox"/> ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。(各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。) </p> <p> <input type="checkbox"/> Windows 98/Me/2000/XP をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。) </p>

症状	チェックポイント/対処方法
<p>20. コンピュータが動作しない／接続した周辺機器が動作しない</p>	<div data-bbox="676 198 1267 956"> <div> <input type="checkbox"/> USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 </div> <div> <input type="checkbox"/> 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。） </div> <div> <input type="checkbox"/> 次の動作を試してみてください。 <div> <div>● コンピュータを再起動してみる</div> <div>● 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる</div> </div> <div> <p>モニター（USB ハブ）に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。</p> </div> <div> <input type="checkbox"/> Apple USB キーボードを本機の USB ポートに接続した場合、キーボード上の電源スイッチは機能しません。キーボード上の電源スイッチを機能させるには直接コンピュータ本体と接続してください。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。 </div> </div> </div>

第 8 章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

液晶パネル面

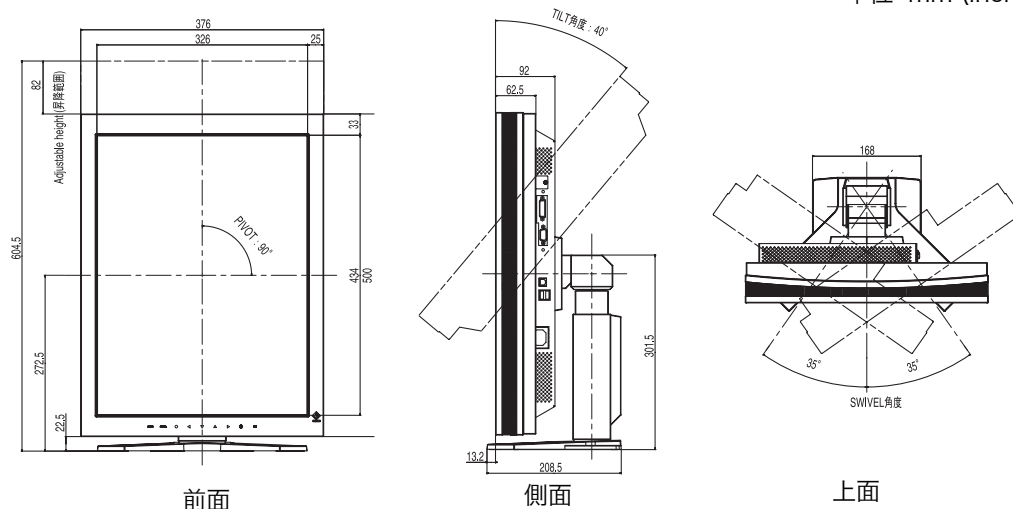
- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、クリーニングキット「ScreenCleaner」（オプション品）をお使いいただくか、少量の水やエタノール系のクリーナをしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

第 9 章 仕様

液晶パネル	54 cm (21.3 型) カラー-TFT 応答時間：約 25ms 表面処理：アンチグレア、ハードコート 表面硬度：2H	
視野角	上下 170°、左右 170° (CR≥10)	
ドットピッチ	0.270mm	
水平走査周波数	アナログ信号入力時 24～100kHz (自動追従) デジタル信号入力時 31～100kHz	
垂直走査周波数	アナログ信号入力時 49～86Hz (自動追従) (1600x1200 モード時は 49～76Hz) デジタル信号入力時 59～61Hz (VGA TEXT 時 69～71Hz)	
解像度	2M ピクセル (縦型設置時 1200×1600 ドット (H×V))	
ドットクロック (最大)	アナログ信号入力時 202.5MHz/デジタル信号入力時 162MHz	
最大表示色	1677 万色	
推奨輝度	240cd/m ² (ブライトネス約 40%) 色温度:6,500K～8,000K 時	
表示サイズ (水平×垂直)	324mm×432mm	
電源	AC100V±10%、50/60Hz、1.1-0.9A	
消費電力	最小 (通常)：105W 最大：115W (USB 使用時) 節電モード：3W 以下 (1 系統入力時、USB 機器未接続時) 電源スイッチオフ時：0W	
信号入力コネクタ	DVI-D コネクタ、D-Sub15 ピン (ミニ)	
アナログ信号 入力同期信号	a)セパレート、TTL、正/負極性	
	b)コンポジット、TTL、正/負極性	
	c)シンクオングリーン	
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)	
デジタル信号伝送方式	TMDS (Single Link)	
ビデオ信号メモリー	アナログ 45 種 (プリセット 30 種) / デジタル 10 種	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B / EDID structure 1.3	
寸法	本体	376mm (幅) × 522.5mm～604.5mm (高さ) × 208.5mm (奥行き)
	スタンドなし	376mm (幅) × 500mm (高さ) × 92mm (奥行き)
質量	本体	9.4kg
	スタンドなし	6.4kg
環境条件	温度	動作温度範囲：0℃～35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～60℃
	湿度	相対湿度範囲：30%～80% R.H. (非結露状態)
	気圧	700～1060hPa. 輸送および保存気圧範囲：200～1060hPa.
USB	規格	USB Specification Revision 2.0
	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
	通信速度	480 Mbps (ハイスピード)、12 Mbps (フルスピード)、 1.5 Mbps (ロースピード)
	供給電流	ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート

■外観寸法

単位：mm (inch)



■主な初期設定（工場出荷設定）値

- CAL Switch モード：工場出荷時の表示設定は 1-DICOM モードです。

	輝度（ブライトネス）	色温度	ガンマ値
1-DICOM	240cd/m ² (約 40%)	7,500K	DICOM
2-Custom	500cd/m ² (約 100%)	7,500K	2.2
3-CAL	240cd/m ² (約 40%)	7,500K	DICOM
4-Text	120cd/m ² (約 15%)	7,500K	2.2

- その他

		アナログ信号入力時	デジタル信号入力時
画像回転		有効	
入力プライオリティ		1	
スムージング		3	
PowerManager		VESA DPMS	DVI DMPM
拡大モード		ノーマル	
オフタイマー		無効	
メニュー設定	ポジション	中央	
	オフタイマー	45 秒	
言語選択		日本語	

■色温度の設定値に対する推奨輝度値

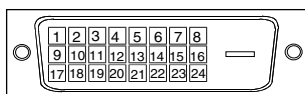
色温度設定 (調整範囲: 6,500～15,000K またはオフ)	推奨輝度値
オフ	270cd/m ²
6,500K～8,000K 時	240cd/m ²
8,500K～10,000K 時	210cd/m ²
10,500K～15,000K 時	180cd/m ²

■別売オプション品一覧

保護パネル	EIZO 「RP-902」
アーム、スタンド	EIZO 「LS-HM1-D」：デュアルホワイトアジャスタブルスタンド EIZO 「LA-131-D」：フレキシブルアーム EIZO 「LA-030-W」：壁掛けアーム EIZO 「LA-011-W」：壁掛けアーム
グラフィックスボード	24bit カラー対応 ● RealVision 「VREngine/SMD2-PCI」 ● Matrox 「MED2mp-PPP」 ● Matrox 「RAD-PCI」 ● Matrox 「AURORA VX3mp」 ● ELSA 「NVS280-PCI」
キャリブレーションキット	EIZO 「RadiCS UX1」 Ver.2.5.0 以降 EIZO 「Clip-On Swing Sensor G1」
ネットワーク QC 管理ソフト	EIZO 「RadiNET Pro」 Ver.2.5.0 以降
クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」

■入力信号接続

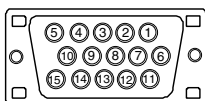
DVI-D コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	9	TMDS Data1-	17	TMDS Data0-
2	TMDS Data2+	10	TMDS Data1+	18	TMDS Data0+
3	TMDS Data2/4 Shield	11	TMDS Data1/3 Shield	19	TMDS Data0/5 Shield
4	NC*	12	NC*	20	NC*
5	NC*	13	NC*	21	NC*
6	DDC Clock (SCL)	14	+5V Power	22	TMDS Clock shield
7	DDC Data (SDA)	15	Ground (For +5V)	23	TMDS Clock+
8	Analog Vertical Sync	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock-

(*NC: No Connection)

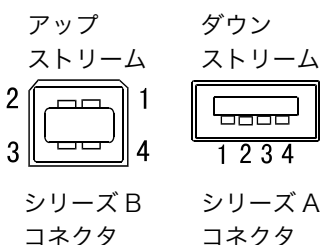
D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	赤	6	赤グラウンド	11	(10 ピンとショート)
2	緑または緑+ コンポジットシンク	7	緑グラウンド	12	データ (SDA)
3	青	8	青グラウンド	13	水平同期
4	グラウンド	9	NC	14	垂直同期
5	NC	10	グラウンド	15	クロック (SCL)

(*NC: No Connection)

USB ポート



接点番号	信号名	備考
1	VCC	電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	グラウンド

第 10 章 用語集

色温度<Temperature>

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: ケルビン (Kelvin) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色

6500K: 暖色で紙色に近い白色

9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。RX210 の場合は横 1200 個、縦 1600 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1200×1600 (縦型設置時)、1600×1200 (横型設置時) の解像度であれば、画像は画面いっぱい (1 対 1) に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン調整

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ (量) をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整したあとでフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

アナログ信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine)

米国放射線学会 (American College of Radiology) と北米電子機器工業会 (National Electric Manufacturers Association) が開発した医用画像と通信の標準規格です。DICOM に準拠した機器を相互接続することにより、画像検査情報や画像データの伝送が可能になります。DICOM Part 14 は DICOM 規格の中でデジタル医用画像の視覚的解釈を統一し、グレースケールイメージの表示について規格化したものです。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (節電モード) が必須となっています。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS (Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ (グラフィックスボード) 側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第 11 章 付録

プリセットタイミング

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、ScreenManager で画面の調整が必要になる場合があります。
- 次頁に記載されている以外の信号を入力した場合は、ScreenManager で画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、ScreenManager で調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドットクロック	極性		周波数	
		水平	垂直	水平：kHz	垂直：Hz
VGA 640×480@60Hz	25.2 MHz	負	負	31.47	59.94
VGA TEXT 720×400@70Hz	28.3 MHz	負	正	31.47	70.09
Macintosh 640×480@67Hz	30.2 MHz	負	負	35.00	66.67
Macintosh 832×624@75Hz	57.3 MHz	正	正	49.73	74.55
Macintosh 1152×870@75Hz	100.0 MHz	負	負	68.68	75.06
Macintosh 1280×960@75Hz	126.2 MHz	正	正	74.76	74.76
VESA 640×480@72Hz	31.5 MHz	負	負	37.86	72.81
VESA 640×480@75Hz	31.5 MHz	負	負	37.50	75.00
VESA 640×480@85Hz	36.0 MHz	負	負	43.27	85.01
VESA 800×600@56Hz	36.0 MHz	正	正	35.16	56.25
VESA 800×600@60Hz	40.0 MHz	正	正	37.88	60.32
VESA 800×600@72Hz	50.0 MHz	正	正	48.08	72.19
VESA 800×600@75Hz	49.5 MHz	正	正	46.88	75.00
VESA 800×600@85Hz	56.3 MHz	正	正	53.67	85.06
VESA 1024×768@60Hz	65.0 MHz	負	負	48.36	60.00
VESA 1024×768@70Hz	75.0 MHz	負	負	56.48	70.07
VESA 1024×768@75Hz	78.8 MHz	正	正	60.02	75.03
VESA 1024×768@85Hz	94.5 MHz	正	正	68.68	85.00
VESA 1152×864@75Hz	108.0 MHz	正	正	67.50	75.00
VESA 1280×960@60Hz	108.0 MHz	正	正	60.00	60.00
VESA 1280×1024@60Hz	108.0 MHz	正	正	63.98	60.02
VESA 1280×1024@75Hz	135.0 MHz	正	正	79.98	75.03
VESA 1280×1024@85Hz	157.5 MHz	正	正	91.14	85.02
VESA 1600×1200@60Hz	162.0 MHz	正	正	75.00	60.00
VESA 1600×1200@65Hz	175.0 MHz	正	正	81.25	65.00
VESA 1600×1200@70Hz	189.0 MHz	正	正	87.50	70.00
VESA 1600×1200@75Hz	202.5 MHz	正	正	93.75	75.00
PC-9801 640×400@56Hz	21.1 MHz	負	負	24.8	56.4
PC-9821 AP2 640×400@70Hz	25.2 MHz	負	負	31.5	70.1
縦型表示 1200×1600@60Hz	162.3 MHz	負	正	99.4	60.0

廃棄およびリサイクルについて

製品回収・リサイクルシステムについて

本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出してください。
 なお、詳しい情報については、弊社のホームページもあわせてご覧ください。
 (<http://www.eizo.co.jp>)

● 法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369（専用）	076-274-2416
月曜日～金曜日 （祝祭日及び弊社休日を除く） 9：30～17：30	24 時間受付 但し、回答は営業時間帯 （電話受付時間帯と同じ）

● 個人のお客様

本製品を家庭から一般廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については情報機器リサイクルセンターまでお問い合わせください。

[情報機器リサイクルセンター]

電話での問合せ受付	インターネットでの問合せ受付
03-3455-6107	http://www.pc-eco.jp
月曜日～金曜日 （祝祭日及び弊社休日を除く） 9：00～17：00	

特定化学物質の含有情報（グリーンマーク）

日本工業規格（JIS）C 0950:2005（通称 J-Moss）「電子・電子機器の特定化学物質の含有表示方法」の基準値において、本機は特定化学物質の含有率が基準値以下の製品（グリーンマーク製品）です。

本製品および弊社製品の「特定化学物質の含有情報」については、弊社のホームページをご参照ください。（<http://www.eizo.co.jp>）



MEMO

MEMO

MEMO



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

<http://www.radiforce.com>



環境保護のため、再生紙を使用しています。

第2版 2006年12月 Printed in Japan.

00N0L277B1
(RX210-JA)